



採れるかな。

聖和保育園児が、八木山健康農園（佐藤順三さん方）でぶどう狩りを
楽しみました。（8/19）

台風シーズンに備え



道部崩土



宮内浸水：静岡新聞提供

九月は本格的な台風シーズンです。八月二十五日に上陸した台風十一号では、町内各所で家屋への浸水や倒木・崩土による道路や電線の寸断など多くの被害が出ました。

今回の台風被害を教訓に、

各家庭で台風による雨や風に

対する備えをしておきましょ

台風は、ある程度進路が予測できます。テレビやラジオの台風情報で、接近・上陸が予想される場合は、あらかじめ準備しておきましょう。

●家庭の中の対策

□停電に備えて懐中電灯や携帯ラジオの準備を。電池も確認しましょう。

□避難に備えて貴重品などの非常持ち出し品の確認を。履きやすい靴とヘルメットなども忘れずに。

□断水に備えて飲料水の確保を。

□浸水の恐れがあるところでは、家具や電気製品などをなるべく高い場所に移しておきましょう。

□長期停電にも対応できるよう、ろうそくやランタン、カセットコンロ等も判りやすくしておきましょう。

●家の周りの対策

□雨戸にがたつきや緩みはないか確認を。

□雨戸が無い窓は、ガラスのひび割れや枠のがたつきがないか確認し、ガムテープ等で補強するか、外側から板を打ち付けて補強しよう。

□鉢植えや物干し竿などの風で飛ばされそうなものは屋内に入れるか、固定します。

□懐中電灯やろうそくはすぐ出せる用意を。

□台風の雨や風の心配が無くなつたら、家の周りの点検をしましょ。

□台風の雨や風の心配が無くなつたら、家の周りの点検をしましょ。

□台風の雨や風の心配が無くなつたら、家の周りの点検をしましょ。

□台風の雨や風の心配が無くなつたら、家の周りの点検をしましょ。



台風対策チェックポイント

台風がきたら

強風や豪雨など、台風特有の気象現象が起こつたら緊急体制にはいりましょう。

□外出はなるべく避ける。どうしても外出する場合は、ヘルメットや厚手の帽子などを頭部を保護します。

□台風の雨や風の心配が無くなつたら、家の周りの点検をしましょ。

□台風の雨や風の心配が無くなつたら、家の周りの点検をしましょ。

□台風の雨や風の心配が無くなつたら、家の周りの点検をしましょ。

□台風の雨や風の心配が無くなつたら、家の周りの点検をしましょ。

□台風の雨や風の心配が無くなつたら、家の周りの点検をしましょ。

台風が去ったら

台風が通過し、強風や豪雨が収まつても、危険な所があります。

□台風が通過して一～二時間後に吹き返しの強風が吹くことがあります。台風の風が弱まつてすぐ屋根の上や高所へ登るのは危険です。

□台風の雨や風の心配が無くなつたら、家の周りの点検をしましょ。

□台風の雨や風の心配が無くなつたら、家の周りの点検をしましょ。

□台風の雨や風の心配が無くなつたら、家の周りの点検をしましょ。

□台風の雨や風の心配が無くなつたら、家の周りの点検をしましょ。

□台風の雨や風の心配が無くなつたら、家の周りの点検をしましょ。

確認を。

□ブロック塀や板塀にひび割れや浮き、破損箇所が無いか確認を。

□最寄の避難所、避難経路の確認を。土砂崩れの危険のある場所も確認しておきましょう。

□一時間に二十ミリ、降り始めからの雨量が百ミリを超えると、土砂災害が発生する恐れがあります。急傾斜地や河川のそばに住んでいる方は、土砂崩れや土石流の前兆を感じた時、ためらわずに避難してください。

□一時間に二十ミリ、降り始めからの雨量が百ミリを超えると、土砂災害が発生する恐れがあります。急傾斜地や河川のそばに住んでいる方は、土砂崩れや土石流の前兆を感じた時、ためらわずに避難してください。

日本の明日をつくる基礎資料 二十一世紀最初の国勢調査がはじまります

平成十七年十月一日から、五年に一度の国勢調査が全国一斉に実施されます。国勢調査は、統計法に基づき、国の最も基本的な統計調査として大正九年以來五年ごとに行われおり、今回は十八回目の調査となります。国勢調査の意義と重要性をご理解いただき、ご協力ををお願いします。

◆国の施策を行うための基礎データとしての役割

二十一世紀を迎える日本では、少子高齢化は一層進行し、生産年齢人口の減少、地域人口分布の不均衡など、人口構造の変化が急速に進んでいくものと推測されます。このような社会の急激な変化に対応した施策、国民生活の質の向上や地域に関連した施策の推進が重要な課題となっています。こうした施策を立案するためには、現状の把握と将来の予測が不可欠です。国勢調査は、人口や世帯数、就業状態

など、国の現在の実態を把握し、行政施策の基礎資料を得るために行われるもののです。

平成十七年国勢調査では、社会経済や人口構造の転換期にある『今の日本』を明らかにする統計データが得られるものとして期待されています。

平成十七年十月一日現在、日本に住むすべての人が国勢調査の対象者です。

九月二十三日から調査員が町内の全世帯を訪問して調査票を配布し、十月一日現在の状況をみなさんに入力していただきます。記入された調査票は十月上旬に再び調査員が各世帯に訪問し、回収します。調査期間中、自宅を留守にする場合には、町の国勢調査担当に連絡し、調査票の配布・回収についてご相談ください。

◆みんなの個人情報を取ります

調査票を配布、回収する調査員は、市町村長の推薦に基づいて総務大臣が任命する非

常勤の国家公務員です。平成十七年国勢調査では、個人情報の保護を一層徹底させるために調査員用に「個人情報保護マニュアル」を作成し、世帯のプライバシー意識に対する適切な対応方法、秘密保護、封入提出調査票の取扱い、調査票の厳重管理について、指導を徹底しています。

今回の調査では、封入提出に使用できる「調査書類整理用封筒」を全世帯に配布します。調査票を封入して提出したい場合には、「調査書類整理用封筒」に入れ、「調査票封入シール」で封をして提出することができます。

また、少子・高齢化、雇用、年金・医療費、防災への対策など、国及び地方公共団体の各種行政施策の基礎資料として利用されています。国立社会保障・人口問題研究所から発表されている人口や世帯数の将来推計のいずれも国勢調査の結果を基に計算されています。国の最も基本的な構成要素である人口をさまざまな角度から分析した国勢調査の結果は、このように行政を適切に進める上で、なくてはならない資料です。ぜひ、調査

まな施策に利用されています。「地方自治法」「地方交付税法」「都市計画法」などの各種法令では、国勢調査で得られた人口を用いることが定められています。例えば、衆議院選挙区の画定及び議員定数(比例代表区)や、地方交付金の算定等の法定人口は、最新の国勢調査の人口を基にしています。

◆平成十七年国勢調査の調査項目

今回は、下記十七項目について調べます。

- 男女の別
- 氏名
- 出生の年月
- 世帯主との続柄
- 配偶の関係
- 国籍
- 就業状態
- 就業時間
- 所属の事業所の名称及び事業の種類
- 仕事の種類
- 従業上の地位
- 従業地又は通学地
- 世帯員の種類
- 世帯員の数
- 住居の種類
- 住宅の床面積
- 住宅の建て方

国勢調査の結果は私たちの身近な生活にかかわるさまざま

小中学生による



姉妹都市交流

松崎から帯広へ



杉山公一中川小学校長を団長とした小中学生ら十五人が七月二十六日から二十八日まで帯広市を訪問しました。

一行は、帯広市役所への表敬訪問や依田勉三翁のお墓参り、帯広百年記念館では帯広の歴史について学びました。また帯広っ子との交流会に参加して親睦を深める一方、ソーセージ作りや搾乳体験など帯広ならではの有意義な体験学習をしました。

この三日間の訪問で、依田勉三翁の偉大な功績に触れ、参加者にとつてすばらしい夏の思い出を作ることができました。



下村和雄松崎中学校長を団長とした松崎中学校二年生の一行五十七名が八月二十二日から二十四日まで松本市安曇地区（旧安曇村）を訪問し、歓迎を受けました。

一行は、約六時間バスに揺られて到着し、安曇支所を表敬訪問しました。その後、安曇地区の中学校二年生との交流会に参加し、ゲームを通してお互いの親睦を深めました。

訪問中は天氣にも恵まれて、岩地海岸では地引き網や海水浴を楽しみ、松崎海岸では松崎中学校二年生と海水浴やカヌーの試乗など楽しんでお互いの交流を深めました。

訪問中は雨が降つてあいにくの天候となりましたが、上高地や乗鞍の散策で雄大な自然に触れると共に、水力発電所の見学を行い、夏休みの貴重な体験となりました。



松本市安曇地区の中学生ら三十一名が八月一日から三日までの三日間の日程で松崎町を訪れました。

一行は、役場を表敬訪問した後、長八美術館や重文岩科学校など町内の文化施設を見学しました。

訪問中は天氣にも恵まれて、岩地海岸では地引き網や海水浴を楽しみ、松崎海岸では松崎中学校二年生と海水浴やカヌーの試乗など楽しんでお互いの交流を深めました。

安曇地区訪問団の中には初めて海に入る生徒もいて、松崎の夏を十分に満喫していました。

松崎から安曇へ

安曇から

帯広から



帯広市の青少年派遣研修団の小中学生ら十四人が八月八日から十日までの三日間、松崎町を訪れました。

一行は、役場を表敬訪問した後、重文岩科学校や長八美術館などを見学しました。中でも依田勉三翁にゆかりのある三余塾資料館や大沢温泉ホテル訪問では、勉三翁の話に熱心に耳を傾けていました。

また松崎海岸では、松崎の児童生徒と一緒に海水浴やスイカ割りなどをして楽しみ、夜はミニホームステイでお互いの交流を深めました。

安曇地区訪問団の中には初めて海に入る生徒もいて、松崎の夏を十分に満喫していました。



フィナーレを飾るナイアガラの滝

夏まつりも熱く
燃え上がりまーた。

暑かつた夏！

夏まつりも熱く
燃え上がりまーた。

十六日は、松崎地区の夏まつりが行われました。

昨年から閻魔さん、灯ろう流し、花火大会が一日に短縮され、歩行者天国になつた商店街は地元の方や観光客三千人余りの人出となり、思うよう歩けないほどでした。

夏まつりのフィナーレを飾る花火大会では、牛原太鼓との共演に、松崎海岸に集まつた観客から大きな声援が送られました。

八月十五日・十六日の両日、町内は夏まつりで賑わいました。

十五日は、三浦地区花火大会が行われ、夏の夜空に大輪の花が咲き競いました。



三浦地区花火大会



牛原太鼓の熱演

施設利用状況 7月23日～8月21日

施設名		本年度人	前年度人	比較人	割合%
長八美術館	入館	3,763	4,543	-780	82.8
重文岩科学校	入館	2,608	3,201	-593	81.5
民芸館	入館	1,700	1,544	156	110.1
中瀬邸	入館	3,353	2,535	818	132.3
花の三聖苑	入館	4,903	3,965	938	123.7
	入浴	4,180	4,306	-126	97.1
国民宿舎	宿泊	3,823	4,209	-386	90.8
サンセットヒル	宿泊	2,562	2,877	-315	89.1
	入浴	4,022	4,304	-282	93.4

徐々に回復しているといわれる景気も低迷状態から脱したと言い切れない状態が続くなが、観光客のニーズの多様化や愛地球博開催の影響から、比較的天候にめぐまれた今年の夏も伊豆半島全体の観光産業にとっては厳しい状況が続いています。

振興公社で管理する各施設の夏休み期間中の入込み客数は別表のとおりとなっています。



松崎海岸

夏休み期間の入り込み概要 (公社施設)

棚田学会第一回学会賞受賞

町職員の異動

棚田の保全、研究に取り組む全国組織「棚田学会」の「石井進記念棚田学会賞」がこのほど決まり、石部棚田保存推進委員会など三団体が受賞しました。

学会賞は、棚田学会初代会長の故石井進東大名誉教授の遺志を継ぎ、棚田保全の優良事例を顕彰するため本年度から設立されたものです。

高齢化・過疎化等により耕作放棄が進んだ棚田地域において、棚田を復元して地域の活力を取り戻す目的で地区有志により結成された石部棚田保全委員会による懸命な活動が引き金となつて、地区住民、町、県が一体となつた地域活性化事業が積極的に実施されるようになりました。

今回の受賞では、耕作放棄が進んだ小さな棚田地域でも地域住民の熱意によつて美し



▲表彰式会場で

表彰式は、八月七日に東京三越劇場で開催された棚田学会総会の席で行われ、石部棚田保全委員会の高橋周蔵会長、高橋靖副会長が参加したほか、総会では、深沢町長が議長役を務めました。

い棚田景観の復元と地域活性化が可能であることを示し、全国の棚田保全の取り組みに勇気を与えた、と評価されました。

9月1日付人事異動

氏名	新	旧
松本和久	産業建設課長	総務課課長補佐兼行財政改革推進室係長
山本眞一郎	企画観光課課長補佐兼まちづくり推進係長、電算係長	企画観光課課長補佐兼まちづくり推進係長
山下好文	総務課行財政改革推進室係長	企画観光課電算係長
土屋奈緒美	総務課総務係	生活環境課公営企業室

8月31日付退職者 産業建設課長 山本一司

山小屋に住めば広がる天の川
蝉鳴きて過疎の古里動き出す
雨乞ひの如く裸婦像天仰ぐ
子の夢を銀河鉄道のせてゆく
諍いの果てて深閑天の川
しらじらと咲きて一夜の鳥瓜
咲き盛るひまわりも又ミニとなる
朝顔や昔を今に藍が好き
細矢金治
佐藤享
稻葉文字
稻葉菊恵
佐藤
依田ふじ枝
吉岡うた子
土屋規矩子
夏目和子
鈴木すみ江
松田美智子
清水高子
斎藤みつ子
村の子の数ふくらみて神輿引く
深き闇いづこへ流る天の川
蝉鳴くや翁の詠みし光堂
初なりのゴーヤ料理で暑気払い

松崎文芸

俳句

まちのできごと

新世紀 松崎三聖塾



町内の小学五年生を対象にした「新世紀松崎三聖塾」が、七月二十七日から四泊五日の日程で行われました。

二日目には、ホタルボランティアの松崎中学生が広げている明伏小倉のビオトープ作りに参 加しました。

八月八日（月）、三浦地区区長をはじめ、観光関係者が集まり、暴力追放パレードが行われました。

八月十八日、十九日の両日、岩科小学校グランドで、岩科地区ミニティバレー ボール大会が行われました。

八月二十一日、日曜日、夏休み中毎朝海水浴場の清掃をしてくれている生徒たちの活動の最終日と聞いて、朝六時に松崎海水浴場に行つてお礼の挨拶をし、活動の状況を見せてもらつた。

ゴミを拾う活動を広めて、大勢の人達が清掃奉仕に参加してくれるならば、この連覇を飾りました。

地域ぐるみで 暴力追放



それぞれの地区で海水浴場を持つ三浦地区には、宿泊施設も集中しているため、一般のお客さんに寛心して海水浴を楽しんでもらいたいと、平成八年から三浦同志会を中心海水浴場や宿泊施設で暴力追放運動を実施しています。

地区的ミニティ活動の活性化と地域間の交流を目的に昭和五十七年から行われているもので、六チームのリーグ戦を行われました。

決勝は峰チームと山口チームで争われ、峰チームが圧勝して連覇を飾りました。

岩科地区ミニティ バレー ボール大会



対照的に、一町民として海水浴場の清掃について投書があった。川上から流れてくる草、流木などについて、川に流さない様にして欲しいとのこ

とである。投書した方の気持ちちは充分理解かるけれど、前述の中高生のよう

町長室からこんにちは ④



松崎町長

深澤進

に、自主的に浜に上がったゴミを拾う活動を広めて、大勢の人達が清掃奉仕に参加するのではないかと思つた次第です。

ボランティア

八月二十一日、日曜日、

夏休み中毎朝海水浴場の清掃をしてくれている生徒たちの活動の最終日と聞いて、朝六時に松崎海水浴場に行つてお礼の挨拶をし、活動の状況を見せてもらつた。

ゴミを拾う活動を広めて、大勢の人達が清掃奉仕に参

21世紀 松崎町三つの実践運動「あいさつ・返事・後しまつ」

広報まつざき

二〇〇五年九月一日発行
第4号

町の人口と世帯

(平成17年8月1日現在)

() 内は前月比

総人口	8,610人	(+12人)
男	4,099人	(+ 6人)
女	4,511人	(+ 6人)
世帯数	3,151戸	(+ 6戸)
転入	21人	転出 7人
出生	4人	死 亡 6人

町の交通事故

平成17年8月15日現在

() 内は前年対比

人身事故	28件	(- 4)
物損事故	72件	(-14)
死者	0人	(± 0)
傷者	40人	(- 2)



戸籍だより

(7月分)

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
岩地	松本かつ	84	高世
峰輪	細田唯平	84	優
西区	齋藤政次	81	芳文
江奈1	土田和彦	75	利雄
那賀	山田きち	98	浩靖
八木山	高野静枝	81	優

おめでとうございます(出生)

地区	氏名	性別	保護者
江奈2	ジュリ	女	ワシントン 恭子
江奈4	カーラ	女	村田真弓

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

塩分の摂りすぎは高血圧、ひいては脳卒中や心臓病などの循環器疾患を起こしやすく、胃がんの原因になるといわれています。

当町は、高血圧症で治療中の方が他市町に比べて多く、亡くなる原因も高血圧性心疾患によるものが男女とも一位（五年前の標準化死亡比）です。予防の観点から塩分の摂りすぎには注意する必要があります。

次のことにつけて下さい。

塩分の摂りすぎは高血圧、ひいては脳卒中や心臓病などの循環器疾患を起こしやすく、胃がんの原因になるといわれています。

当町は、高血圧症で治療中の方が他市町に比べて多く、亡くなる原因も高血圧性心疾患によるものが男女とも一位（五年前の標準化死亡比）です。予防の観点から塩分の摂りすぎには注意する必要があります。

次のことにつけて下さい。

塩分の摂りすぎに注意しましよう

保健師だより

学校ひろば

岩科小学校

松崎高校にて

四二一〇三三〇

岩科小学校の三年生から六年生で松崎高校におじやました。当日は、松崎高校の卒業生や在校生の美術作品を見せていただきました。

校側のご厚意で授業も参観させていただきました。

学校見学を通して、子供たちは、初めて触れる高校生活に対し、驚きながらも理解を深めることができました。特に、高学年の子どもたちは、「教科書の中をのぞき込んだらすごく難しそうで後何年か絶たらこんな勉強するんだなあ」と思しながら教室を見ていました。(五年男子の感想から)など、四年先五年先には自分がこうなるんだといった見通しを持つためには、とてもいい経験となつたようでした。

そして、美術室で高校の美術の先生からお話をしていたとき、卒業生や在校生の作品を見せていただきました。油絵やデッサン、自然の素材を利用した工作など、素晴らしい

い作品に子ども達も「何で描いたんだろう?本当に描いたの?」など、びっくりしていました。

全国に出展された作品も見せていただきましたが、制作に三ヶ月かかったことを聞くと、「めんどくさいから図工が嫌い」と、思っていた子ども達も大作を前に「めんどくさいですましていては、図工だけなく何も上達しない」と、言つた美術の先生の言葉が実感できたようでした。

